

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年12月3日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	秋田横連携IoT推進ラボ協議会	代表者名	岩根えり子
担当者部署	横手市役所	連絡先電話番号	0182-35-2164
担当者役職		担当者氏名	
住所	013-8601 秋田県横手市中央町8番2号		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	横手市役所	連絡先部署	総務企画部
担当者氏名		連絡先電話番号	0182-35-2164
連絡先E-mail			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"> IoTやICT、RPAに積極的に取り組んでいる自治体の先進事例について教えていただき、秋田県の特徴を反映させたいうえで、具体的にやっていくべきことについてのアドバイスをいただいたため。 参加した一人一人の疑問点を聞き出し、その疑問点に対する改善策を示していただいたため。
アドバイザーへの要望事項	<ul style="list-style-type: none"> 地域情報化アドバイザー制度を活用した派遣事業は今回で終了となるが、今後も継続して森戸先生からのアドバイスをいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月1日	10時00分	12時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	横手市交流センター Y ² びらざ		最寄駅	横手駅
	所在地	〒013-0036 秋田県横手市駅前町1番21号			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	協議会員、市職員	9人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> IoTを利用することで、膨大なデータを解析する技術が普及し、新たな市場が形成され始めている。しかしながら、当協議会においては具体的な事業について、それぞれの会員が案を持っているが、それをアウトプットすることができない状況が課題である。 	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> IoT、地域力、シェアリングエコノミーに着目し、地域課題の解決に繋がるアイデアの発掘や、Society5.0時代に地域を牽引できる民間サービスへの投資を促進させること。 	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 『スクラップ&ビルド』ではなく、『ビルド&スクラップ』の考えに変えることが必要である。目標を明確化し、今やっていることから何を削っていくかという考えが必要であり、何かを『スクラップ』した後に『ビルド』するのは時代に即していない。 現役世代に将来迷惑をかけてはいけないという危機感を高齢者に持ってもらうことが重要になる。その手段については、横手市の特性を活かした事業(農業や交通面)を進めていく必要がある。 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 既読が付かない電子メールよりも、LINEやfacebookのようなチャット機能を活用した方が、情報共有をしやすいという意識の確立。 現役世代が今よりももっと便利に生活していくということではなく、IoTやICT、RPAを活用し、10年後や20年後に『高齢者』と『子ども』がどのようにして便利で安心した生活を送れるかということに重きをおくことの重要性。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	<ul style="list-style-type: none"> Society5.0 Yokoteコンソーシアムの設立 	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施なし 	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 当協議会に参加している自治体と企業が同じ問題意識を持ち、Society5.0時代を生き抜くための克服課題を明確にする。 スマートシティ構想の具体化。 	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

